

第 6 次南箕輪村総合計画策定に伴う村民アンケート結果 ＜概要報告書＞

2024 年 9 月

南箕輪村
南箕輪村むらづくり委員会

目 次

1 本報告書の主旨	3
2 村民アンケート調査方法及び回答方法	3
3 村民アンケートの実施状況	3
4 むらへの愛着度・満足度と定住意向	4
5 むらの現状と今後の取組みについて(19 歳以上の村民)	5 ～ 6
6 10 年後の将来像(あるべき姿)、むらにしてほしいこと	7
7 むらの住みやすさと地域の活性化に向けた取組み	8 ～ 12
8 転入理由等について(10 年以内に村内に転入された村民)	13 ～ 14
9 地域幸福度指標調査(19 歳以上の村民、10 年以内に村内に転入された村民)	15 ～ 17

1 本報告書の主旨

第6次南箕輪村総合計画(計画期間 令和8(2026)年度～令和17(2035)年度)の策定に伴い、令和6(2024)年2月～4月に村民アンケートを実施しました。

その結果の概要について報告します。

2 村民アンケート調査方法及び回答方法

- (1) 「① 19歳以上の村民」及び「② 10年以内に村内へ転入された村民」は、村内在住者から【無作為抽出】して調査対象者を選定し、郵送にてアンケート用紙を送付しました。なお、アンケート用紙に附されているQRコードから、オンライン(Google form)による回答も可能としました。
- (2) 「③ 高校生世代」は、村内在住者の【全数】を調査対象者として、郵送にてアンケート用紙を送付しました。なお、アンケート用紙に附されているQRコードから、オンライン(Google form)による回答も可能としました。
- (3) 「④ 小学4～6年生・中学生」は、村内在住者の【全数】を調査対象者として、南箕輪村教育委員会から各小中学校へオンライン(Google form)によるアンケート調査を依頼しました。

3 村民アンケートの実施状況

村民アンケートの実施状況(配布数及び有効回収率)は、次のとおりです。

調査対象	今回(R6)		前回(R1)	
	配布数	有効回収率	配布数	有効回収率
① 19歳以上の村民	1,300部	42.1% (回収547部 ※1)	1,250部	40.8%
② 10年以内に村内へ 転入された村民	800部	30.0% (回収240部 ※2)	750部	34.9%
③ 高校生世代	497部	29.8% (回収148部 ※3)	460部	39.6%
④ 小学4～6年生・ 中学生	1,020部	58.6% (回収598部)	996部	92.5%

※1 「① 19歳以上村民」の回収547部の内訳：郵送474部・オンライン73部

※2 「② 10年以内に村内へ転入された村民」の回収240部の内訳：郵送171部・オンライン69部

※3 「③ 高校生世代」の回収148部の内訳：郵送91部・オンライン57部

4 むらへの愛着度・満足度と定住意向

(1) むらへの愛着度・満足度について

調査対象	項目	今回(R6) (%)	前回(R1) (%)	比較(R6-R1) (ポイント)
① 19 歳以上の村民	愛着を感じている	82.8	79.1	+3.7
	愛着を感じていない	3.5	6.5	-3.0
② 10 年以内に村内へ 転入された村民	満足している	80.8	78.6	+2.2
	満足していない	4.2	5.0	-0.8
③ 高校生世代	愛着を感じている	84.5	85.2	-0.7
	愛着を感じていない	4.7	2.7	+2.0
④ 小学 4～6 年生・ 中学生	好きだ	85.6	84.9	+0.7
	好きではない	2.7	2.1	+0.6

(2) 今後の定住意向について

調査対象	項目	今回(R6) (%)	前回(R1) (%)	比較(R6-R1) (ポイント)
① 19 歳以上の村民	住み続けたい	87.8	85.2	+2.6
	住みたくない	1.1	2.4	-1.3
② 10 年以内に村内へ 転入された村民	住み続けたい	77.9	78.2	-0.3
	住みたくない	4.2	3.1	+1.1
③ 高校生世代	住み続けたい	45.3	56.6	-11.3
	住みたくない	12.2	10.4	+1.8
④ 小学 4～6 年生・ 中学生	住み続けたい	54.2	52.7	+1.5
	住みたくない	10.7	12.3	-1.6

※評価値の算出方法

5 段階の評価のうち、3 位の「普通/どちらともいえない」を除く、上位分類(1 位・2 位)の和、下位分類(4 位・5 位)の和でそれぞれ算出しています。

各項目(%) = 評価分類 / 全回答者数(無回答者数も含む) × 100

※小数点第 2 位を四捨五入しています。

5 むらの現状と今後の取組みについて(19 歳以上の村民)

(1) むらの各環境に関する満足度

	今回 (R6)		前回 (R1)	
	項目	ポイント	項目	ポイント
上位 3 位	自然が豊かである	6.12	自然が豊かである	6.15
	下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	4.44	田んぼや牧草地などの景観がよい	4.67
	水道の整備が進んでいる	4.23	下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	3.75
下位 3 位	電車・バスなどの公共交通機関が利用しやすい	-3.48	衣類や電化製品などの買い物がしやすい	-2.96
	衣類や電化製品などの買い物がしやすい	-2.61	電車・バスなどの公共交通機関が利用しやすい	-2.84
	高齢者の働く場などが充実している	-1.63	働く場が確保されている	-1.90

(2) むらの各環境に関する重要度

	今回 (R6)		前回 (R1)	
	項目	ポイント	項目	ポイント
上位 3 位	歩道の整備など、交通事故防止策が充実している	6.02	子どもにとって安全・安心なむらづくりをしている	5.86
	子どもにとって安全・安心なむらづくりをしている	5.91	歩道の整備など、交通事故防止策が充実している	5.70
	街路灯など防犯の面で安心である	5.80	衣類や電化製品などの買い物がしやすい	5.58
下位 3 位	国際交流が盛んである	0.97	国際交流が盛んである	1.30
	地域活動への住民参加の機会がたくさんある	1.29	地域活動への住民参加の機会がたくさんある	1.88
	祭りやイベントが充実している	1.41	ボランティア活動が活発である	1.88

※ポイント(加重平均値)の算出方法

5段階の評価にそれぞれの点数を加えて、評価点(満足度/重要度)を算出しています。

評価点 = (「重要/満足」の回答者数×10 点+「やや重要/やや満足」の回答者数×5 点+「普通」の回答者数×0 点
+「やや不満/あまり重要ではない」×(-5 点)+「不満/重要ではない」×(-10 点))÷全回答者数

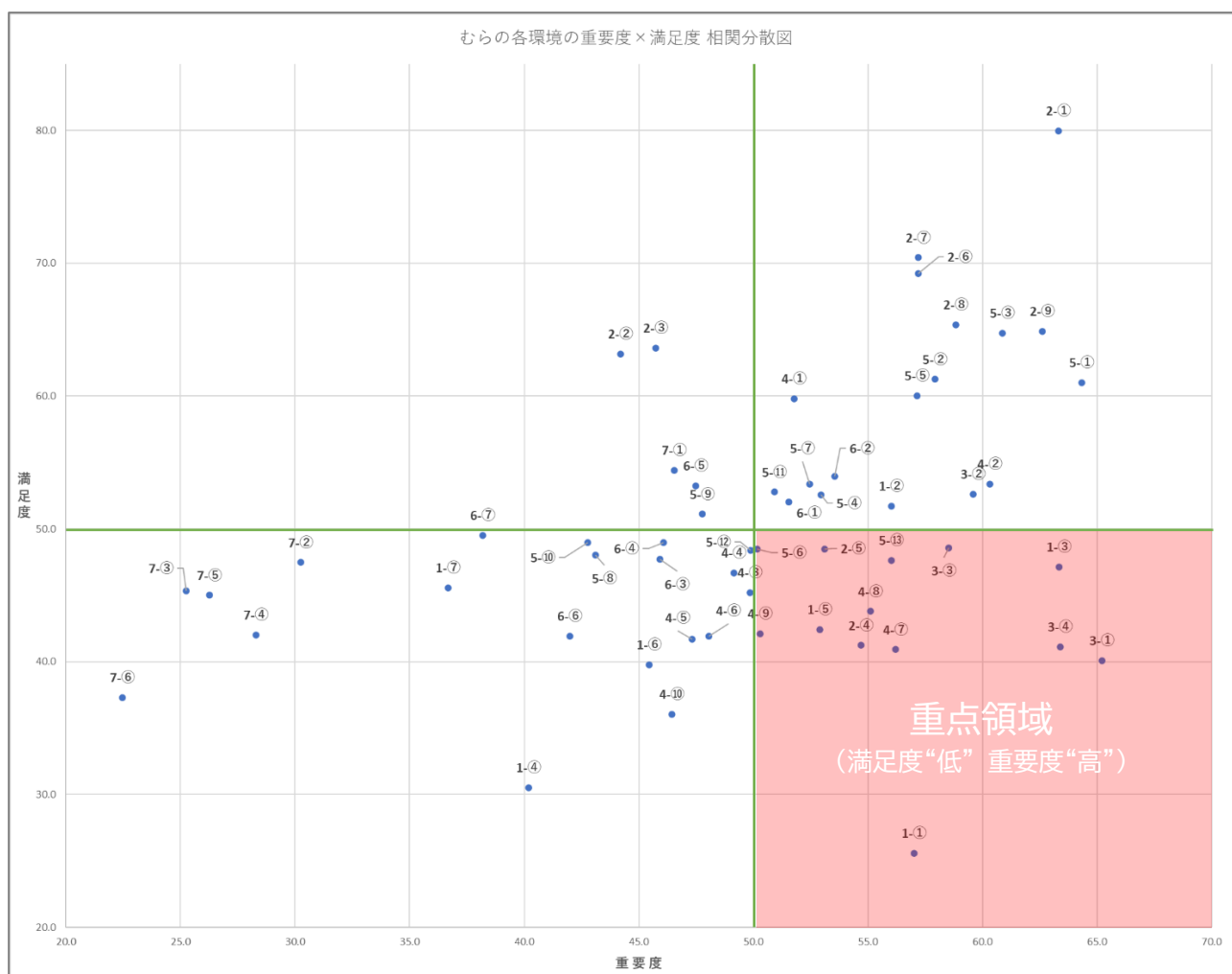
※小数点第 3 位を四捨五入しています。

評価点は、10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高く、-10 点に近くなるほど評価は低くなると考えられます。

(3) むらの各環境に対する満足度と重要度の相関関係(優先度)

優先順位	項目番号	項目	前回(R1)順位
1	1-①	公共交通機関の利便性	1(-)
2	3-①	交通事故防止の充実	2(-)
3	3-④	防犯対策の充実	3(-)
4	1-③	買い物の便利さ(食品・日用品)	4(-)
5	4-⑦	高齢者のための施設が整っている	7(↑2)
6	2-④	身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	6(-)
7	3-③	防災対策の充実	19(↑12)
8	1-⑤	働く場の確保	5(↓3)
9	4-⑧	高齢者のための福祉サービスの充実	11(↑2)
10	4-⑨	高齢者が交流できる場所や機会の充実	設問なし

【散布図(縦軸:満足度 横軸:重要度)】



※優先度の算出方法

- ① 満足度偏差値、重要度偏差値を算出し、散布図にて分布を表示。(上記)
- ② ①で算出した偏差値から、中心値(満足度偏差値 50、重要度偏差値 50)への距離を算出。
- ③ 中心から「満足度評価“最低値”・重要度評価“最高値”」(仮点)までの距離と、②の距離から角度を算出。
- ④ ③で求めた角度より修正指数($(90^\circ - |\text{角度}|) / 90^\circ$)を算出(これにより、満足度評価“最低値”・重要度評価“最高値”に近づくほど優先度が高くなることが分かります。)
- ⑤ ②で算出された距離と、④で算出された修正指数を乗算して、優先度を算出。

6 10年後の将来像(あるべき姿)、むらにしてほしいこと【3つまで回答】

(1) 全体(n=935)

順位	項目	%
1 位	高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村	43.9
2 位	子育て支援が手厚く、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村	40.0
3 位	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせる村	35.1
4 位	自然環境や歴史的資源をいかした個性ある村	25.2
5 位	福祉施設や医療施設が整備された村	22.4

(2) 調査対象者別

上位 5 位	19 歳以上の村民		10 年以内に村内に転入された村民		高校生世代	
	項目	%	項目	%	項目	%
1 位	高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村	53.6	子育て支援が手厚く、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村	54.2	子育て支援が手厚く、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村	48.6
2 位	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせる村	38.0	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせる村	36.3	自然環境や歴史的資源をいかした個性ある村	31.1
3 位	子育て支援が手厚く、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村	31.4	高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村	35.8	観光・レクリエーション施設や、祭り・イベントの充実した村	25.0
4 位	福祉施設や医療施設が整備された村	27.1	福祉施設や医療施設が整備された村	21.3	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせる村	22.3
5 位	自然環境や歴史的資源をいかした個性ある村	26.3	自然環境や歴史的資源をいかした個性ある村	19.2	大学や高校などと連携した学校教育が充実した村	21.6

(3) むらにしてほしいこと(小中学生)

順位	項目	%	前回順位 (%)
1 位	自然を守ってほしい	60.7	1 位 (55.7)
2 位	公園などの遊び場をつくってほしい	29.9	2 位 (29.6)
3 位	まちをきれいにしてほしい	27.1	6 位 (19.4)
4 位	人と人が助け合っていくようにしてほしい	22.1	3 位 (24.4)
5 位	買い物をしやすくしてほしい	18.4	5 位 (21.9)

7 むらの住みやすさと地域の活性化に向けた取組み[3つまで回答]

(1)-1 少子化対策:全体(n=935)

順位	項目	%
1 位	出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減	53.6
2 位	所得の向上や雇用の安定に向けた支援	37.9
3 位	保育時間の延長や未満児の受け入れなど、保育サービスの充実	21.7
4 位	安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実	21.2
5 位	結婚・出産支援事業の拡充	20.5

(1)-2 少子化対策:調査対象者別

上位 5 位	19 歳以上の村民		10 年以内に村内に転入された村民		高校生世代	
	項目	%	項目	%	項目	%
1 位	出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減	48.8	出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減	61.7	出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減	58.1
2 位	所得の向上や雇用の安定に向けた支援	39.5	所得の向上や雇用の安定に向けた支援	35.8	所得の向上や雇用の安定に向けた支援	35.1
3 位	結婚・出産支援事業の拡充	21.8	保育時間の延長や未満児の受け入れなど、保育サービスの充実	27.1	安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実	23.6
4 位	保育時間の延長や未満児の受け入れなど、保育サービスの充実	21.6	安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実	22.1	高等教育機関への通学や学習支援の充実	22.3
5 位	安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実	20.1	結婚・出産支援事業の拡充	18.8	結婚・出産支援事業の拡充	18.9

(2)-1 高齢者福祉対策:全体(n=935)

順位	項目	%
1 位	高齢者向けの医療や保健対策の充実(健康づくりや介護予防など)	38.5
2 位	寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの拡充	38.0
3 位	高齢者住宅・介護施設等への入居・利用の連携	34.8
4 位	一時的に高齢者を受け入れてくれる施設の充実	30.4
5 位	高齢社会を支える人材の確保・育成	28.7

(2)-2 高齢者福祉対策:調査対象者別

上位 5 位	19 歳以上の村民		10 年以内に村内に転入された村民		高校生世代	
	項目	%	項目	%	項目	%
1 位	高齢者向けの医療 や保健対策の充実 (健康づくりや介護 予防など)	39.9	寝たきり、一人暮らし 高齢者世帯を支 える住宅サービス の拡充	41.3	高齢者向けの医療 や保健対策の充実 (健康づくりや介護 予防など)	45.3
2 位	寝たきり、一人暮らし 高齢者世帯を支 える住宅サービス の拡充	39.1	高齢者住宅・介護施 設等への入居・利用 の連携	35.0	高齢者のレクリエー ションや学習、スポ ーツ、趣味活動など の場の充実	29.1
3 位	高齢者住宅・介護施 設等への入居・利用 の連携	38.8	高齢者向けの医療 や保健対策の充実 (健康づくりや介護 予防など)	31.3	寝たきり、一人暮らし 高齢者世帯を支 える住宅サービス の拡充	28.4
4 位	一時的に高齢者を 受け入れてくれる 施設の充実	34.7	一時的に高齢者を 受け入れてくれる 施設の充実	31.3	高齢化や障がい に配慮した地域の環 境づくり(段差の解 消、手すりの設置な ど)	25.7
5 位	高齢社会を支える 人材の確保・育成	33.1	高齢者の能力を活 かす生産活動や雇 用機会、ボランティ ア活動の充実	25.4	高齢者の能力を活 かす生産活動や雇 用機会、ボランティ ア活動の充実	24.3

(3)-1 産業振興対策:全体(n=935)

順位	項目	%
1 位	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)	33.9
2 位	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など)	29.4
3 位	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど)	27.1
4 位	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など)	21.4
5 位	工場や事業所などの誘致	20.4

(3)-2 産業振興対策:調査対象者別

上位 5 位	19 歳以上の村民		10 年以内に村内に転入された村民		高校生世代	
	項目	%	項目	%	項目	%
1 位	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)	39.5	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など)	31.7	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など)	41.2
2 位	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど)	29.4	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)	28.8	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など)	33.1
3 位	工場や事業所などの誘致	26.1	観光・交流関連産業(観光サービスの向上、交流人口の拡大など)	24.6	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど)	24.3
4 位	商業(店舗の維持・拡大、サービス向上など)	25.2	農林業(従事者の後継者育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど)	23.3	福祉・介護(施設の維持・拡大、サービス向上など)	21.6
5 位	異なる分野の連携・協力による産業の振興(観光と農業、福祉と教育など)	19.7	移住、定住に対する支援・取組み	19.6	移住、定住に対する支援・取組み	20.9

(4)-1 観光・交流振興対策:全体(n=935)

順位	項目	%
1 位	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実	43.1
2 位	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実	36.6
3 位	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上	32.2
4 位	観光客を引き付ける、周辺地域と連携した観光拠点の整備	27.8
5 位	清潔で楽しい大芝高原の維持に関する環境整備の保全・美化活動の拡充	23.4

(4)-2 観光・交流振興対策:調査対象者別

上位	19 歳以上の村民		10 年以内に村内に転入された村民		高校生世代	
5 位	項目	%	項目	%	項目	%
1 位	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実	41.5	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実	46.3	宿泊や物販販売、飲食などができる場の充実	43.9
2 位	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実	36.0	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実	37.5	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上	37.8
3 位	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上	32.0	道路の整備やバスの便などの交通条件の向上	29.2	大芝高原の資源を活用した体験観光の場や企画の充実	37.2
4 位	観光客を引き付ける、周辺地域と連携した観光拠点の整備	29.8	観光客を引き付ける、他地域との連携した観光拠点の整備	26.7	南箕輪村らしさのあるイベントや交流企画の充実	27.7
5 位	清潔で楽しい大芝高原の維持に関する環境整備の保全・美化活動の拡充	28.2	南箕輪村らしさのあるイベントや交流企画の充実	24.2	観光客を引き付ける、周辺地域と連携した観光拠点の整備	22.3

(5)-1 デジタル化対策:全体(n=935)

順位	項目	%
1 位	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながる事	35.2
2 位	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること	34.9
3 位	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること	33.6
4 位	子育て支援サービスが高度化・充実化すること	24.3
5 位	SNS 等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること	21.0

(5)-2 デジタル化対策:調査対象者別

上位 5 位	19 歳以上の村民		10 年以内に村内に転入された村民		高校生世代	
	項目	%	項目	%	項目	%
1 位	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること	42.2	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること	47.1	子育て支援サービスが高度化・充実化すること	31.8
2 位	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながる事	37.8	子育て支援サービスが高度化・充実化すること	33.8	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること	31.1
3 位	様々な行政手続きがオンライン化(手続きがインターネット上で完結)されること	28.3	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながる事	31.7	子どもや高齢者の見守りなど、村の安全・安心につながる事	31.1
4 位	子育て支援サービスが高度化・充実化すること	18.1	SNS 等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること	24.2	SNS 等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること	30.4
5 位	SNS 等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること	17.0	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること	23.8	健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること	25.7

8 転入理由等について(10年以内に村内に転入された村民)

(1) 転入される前の居住地

上位 5位	今回 (R6)		前回 (R1)	
	項目	%	項目	%
1位	上伊那地域	55.0	上伊那地域	60.7
2位	県外※または海外	9.2	木曽地域を除く北・中東信	7.6
3位	木曽地域を除く北・中東信	7.5	東京・神奈川・埼玉・千葉	7.3
4位	岡谷・諏訪地域	7.1	県外※または海外	6.9
5位	松本・塩尻地域	7.1	岡谷・諏訪地域	5.7
			松本・塩尻地域	5.7

※「東京・神奈川・埼玉・千葉」及び「愛知・岐阜・三重」を除く県外

(2) 南箕輪村に転入してきた理由 ※「その他」の理由を除く

上位 5位	今回 (R6)		前回 (R1)	
	項目	%	項目	%
1位	南箕輪村に家を建てた、南箕輪村に良い物件(土地・家・アパート等)があったから	43.3	南箕輪村に家を建てた、南箕輪村に良い物件(土地・家・アパート等)があったから	42.4
2位	仕事や学校に通うのに便利だから(通勤・就学など)	19.6	仕事や学校に通うのに便利だから(通勤・就学など)	29.8
3位	親元・実家(の近く)へ戻りたかったから、戻らなければならなかったから	15.8	親元・実家(の近く)へ戻りたかったから、戻らなければならなかったから	19.8
4位	結婚したから	12.9	子育て支援が充実しているから	19.1
5位	子育て支援が充実しているから	12.1	自然や景観が良いから	9.2

(3) 南箕輪村に転入するにあたり、必要とした情報 [3つまで回答]

上位 5位	今回 (R6)		前回 (R1)	
	項目	%	項目	%
1位	子育て支援など行政サービス情報	32.9	子育て支援など行政サービス情報	44.3
2位	買い物の場所などの情報	26.7	住宅や土地などの物件情報	37.4
3位	医療機関の情報	25.8	医療機関の情報	20.6
4位	住宅や土地などの物件情報	25.0	学校や塾などの教育情報	20.2
5位	ハザードマップ等防災関連情報	20.8	地域・区などのコミュニティ情報	19.8

(4) 区や組への加入状況 (n=240)

調査対象	今回(R6) (%)	前回(R1) (%)	比較(R6-R1) (ポイント)
「区」も「組」も加入している	53.8	53.4	+0.4
「区」のみ加入	10.8	8.4	+2.4
「組」のみ加入	1.3	1.1	+0.2
「区」にも「組」にも加入していない	32.5	36.6	-4.1
無回答	1.7	0.4	+1.3

(5) 「区」や「組」に加入しない理由 (n=111)

上位 5位	今回 (R6)		前回 (R1)	
	項目	%	項目	%
1位	わからない	26.1	長く住むつもりがない(転勤など)	26.4
2位	活動に参加できない	22.5	わからない	22.3
3位	その他	17.1	その他	16.5
4位	必要性を感じない	9.0	必要性を感じない	8.3
5位	長く住むつもりがない(転勤など)	8.1	活動に参加できない	8.3

(6) 「区」や「組」に加入している方が考える「区や組みへの加入」について (n=129)

調査対象	今回(R6) (%)	前回(R1) (%)	比較(R6-R1) (ポイント)
強制的に加入すべき	10.1	17.9	-7.6
加入・未加入は本人にまかせるべき	69.0	71.4	-2.4
わからない	10.1	5.0	+5.1
その他	4.7	5.0	-0.3
無回答	6.2	0.7	+5.5

9 地域幸福度指標調査(19 歳以上の村民、10 年以内に村内に転入された村民 N=787)

(1) 設問内容

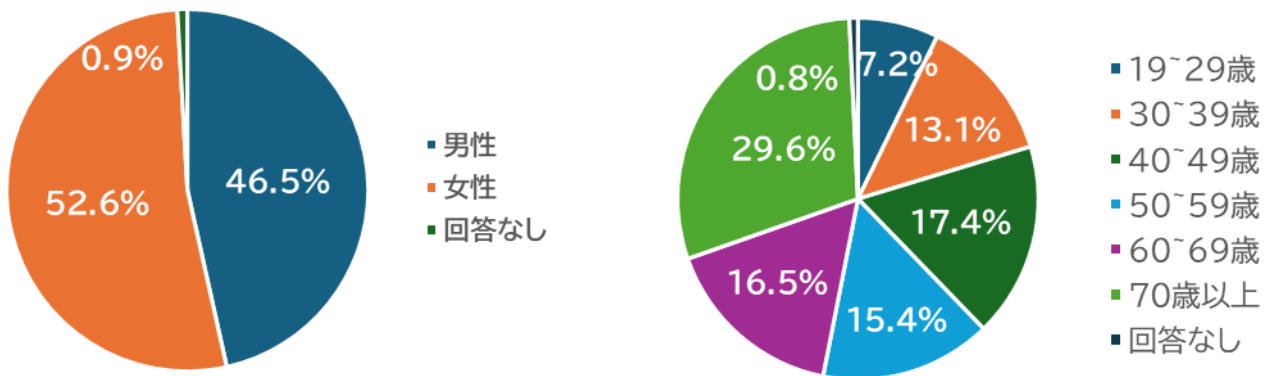
[個人因子 5 択/35 問]

No	項目	分類	No	項目	分類
1	暮らしている地域は、文化・芸術・伝統が盛んで誇らしい	活力と誇り	19	私は、見知らぬ他者であっても信頼する	多様性への寛容さ
2	暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる		20	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	
3	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある		21	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	
4	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	生活の利便性	22	暮らしている地域は、住民同士が過干渉でしがらみが多い	過干渉と不寛容
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している		23	暮らしている地域では、少しでも変わった事をすると周りからとやかく言われる	
6	暮らしている地域の公共施設は、使い勝手がよく便利である		24	暮らしている地域の住民は、地域外から来た人には疑いの目を向ける	
7	暮らしている地域は、路上にごみを捨てる人が多い	生活ルールの秩序	25	自宅近辺の街並みは、私の好みに合っている	地域との相性
8	暮らしている地域は、ごみ出しや生活ルールを守らない人が多い		26	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	
9	自宅の近辺は、騒音に悩まされている		27	暮らしている地域の時間の流れ方・感じ方は、自分にあっている	
10	暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	自然環境・安心・安全	28	暮らしている地域の政策や取組みには、賛同できる	地域行政への信頼
11	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる		29	南箕輪村役場は、地域のことを真剣に考えていると思う	
12	暮らしている地域の空気や水は、澄んでいてきれいだと感じる		30	南箕輪村役場の窓口は、親切で好感が持てる	
13	自宅の間取りは、使い勝手がよく快適である	居住空間の快適さ	31	意識的に健康づくりに取り組んでいる	心身の健康
14	自宅の外観(庭等を含む)には、満足している		32	目的をもって学んでいるものがある(学生の方は学校以外で)	
15	自宅には、心地のいい居場所がある		33	電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮している	環境への配慮
16	暮らしている地域には、気の合う仲間や知り合いがいる	つながりと感謝	34	製品を購入する時、省エネなど環境に配慮したものを選んでる	
17	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる		35	普段から公共交通機関を利用している	
18	私は、近所の方に感謝することが多い				

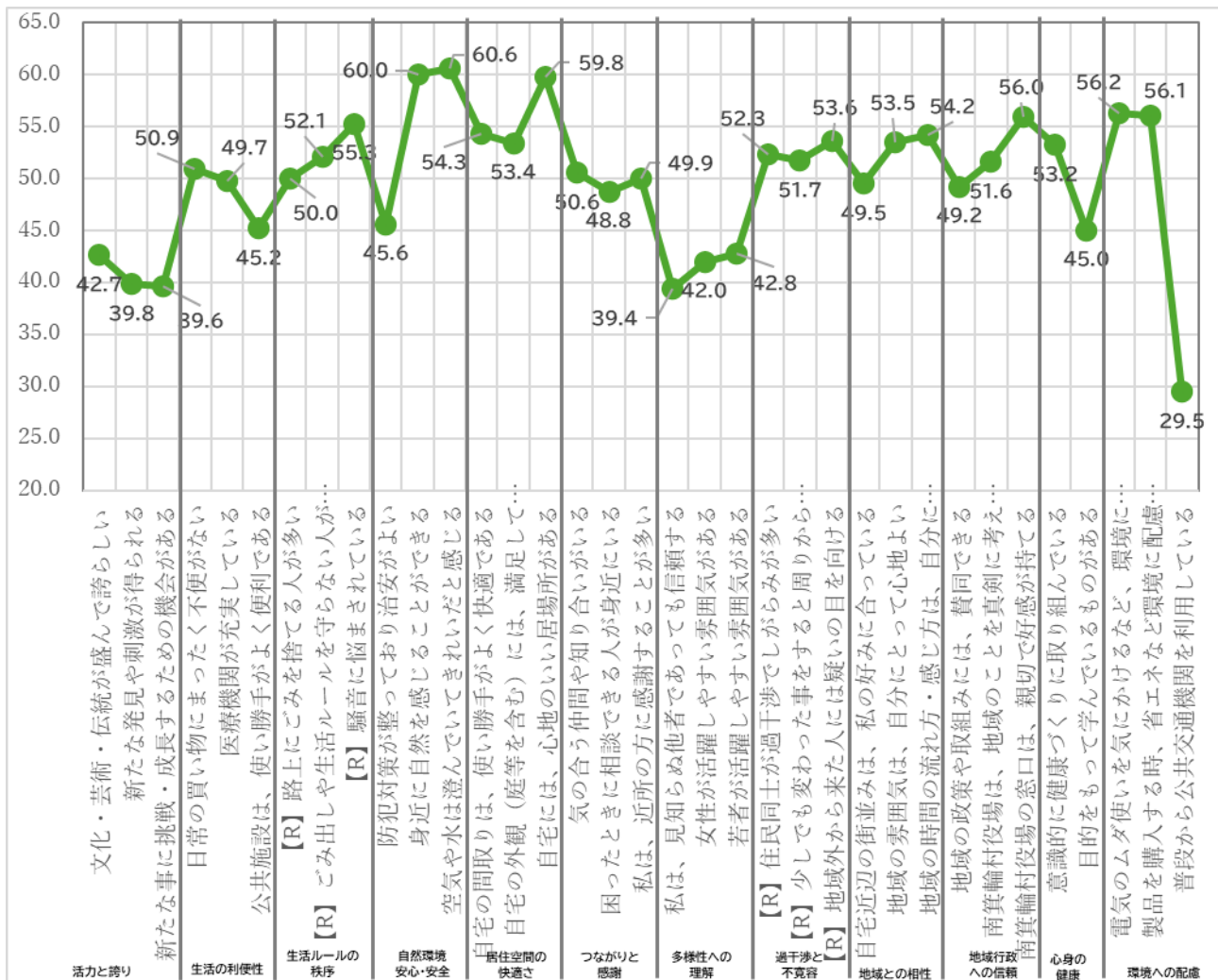
[協調因子 10 択/2 問]

No	項目	分類
1	あなたはどの程度幸せですか？(とても幸せ 10 点 ~ とても不幸 0 点)	主観
2	あなたの暮らす地域の人々は、どのくらい幸せだと思いますか？(とても幸せ 10 点 ~ とても不幸 0 点)	客観

(2) 回答者属性割合



(3) 個人因子アンケート点数(偏差値化後)



※点数及び偏差値について

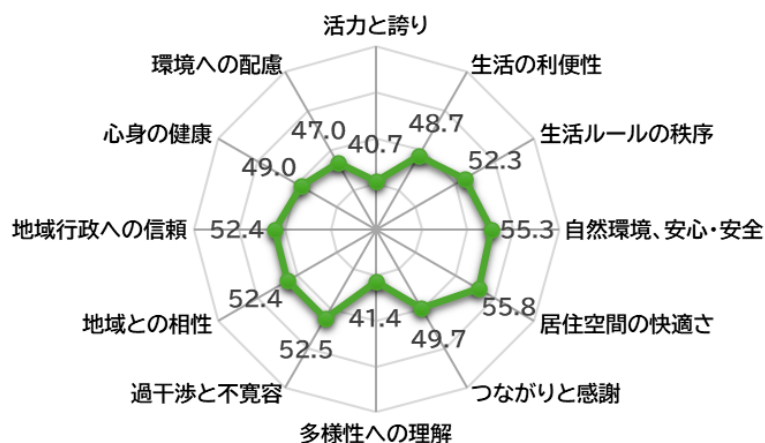
5段階の評価にそれぞれの点数を加えて、偏差値を算出しています。

(非常にあてはまる…5点、ある程度あてはまる…4点、どちらともいえない…3点、あまりあてはまらない…2点、全くあてはまらない…1点)

ただし、設問の頭に【R】が付されているものは、点数が逆転となります。

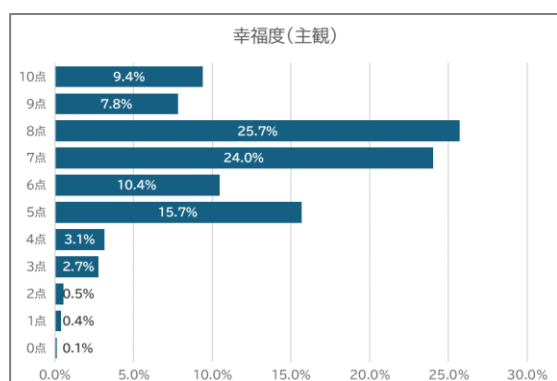
(非常にあてはまる…1点、ある程度あてはまる…2点、どちらともいえない…3点、あまりあてはまらない…4点、全くあてはまらない…5点)

(4) 個人因子:分類毎偏差値の状況

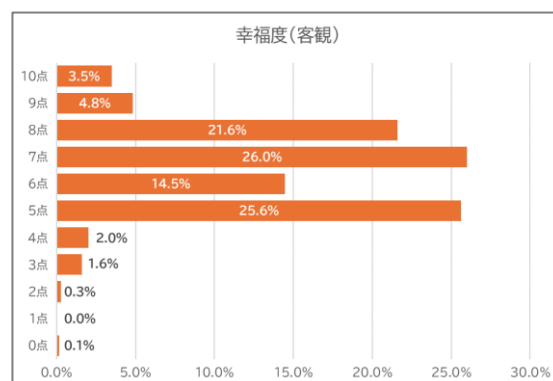


※分類毎偏差値について
分類ごとの得点(個人毎)の平均値を割り出し、中心値(全体の平均値)を偏差値 50 として偏差値を算出しました。

(5) 協調因子:幸福度

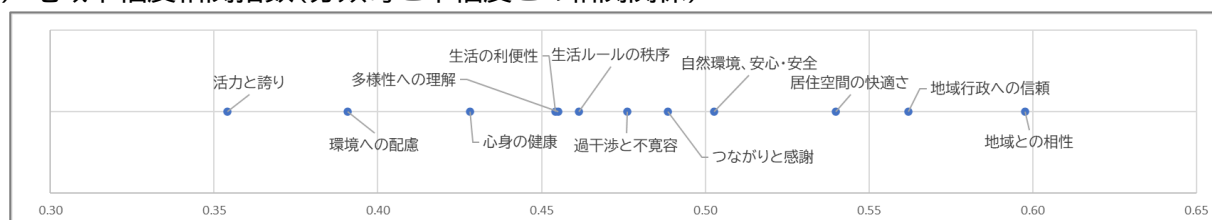


(平均:7.01 点)



(平均:6.61 点)

(6) 地域幸福度相関指数(分類毎と幸福度との相関関係)



※地域幸福度相関指数について
アンケート回答者ごとの分類別平均点と、個人の幸福度(協調因子(主観))の相関関係を係数化して分布しました。
幸福度との相関係数として、0.2未満 … 「ほとんど相関関係がない」、0.2～0.4 は、「やや相関関係がある」、0.4～0.7 は「かなり相関関係がある」、0.7～1.0 は「強い相関関係がある」と言えます。